



山澤洋之(やまさわ ひろゆき)

洗足学園音楽大学を首席で卒業。

洗足学園音楽大学大学院修士課程を首席で修了。

2002年第12回日本クラシック音楽コンクールグランプリ。

(打楽器で初)

1999年韓国にて日本文化週間行事に招待され演奏会を行う。

1999年洗足学園音楽大学シンフォニックウインドオーケストラ

特別演奏会において、A. リード博士のマリンバコンチェルティーノを

博士自身の指揮にて共演したほか、E. セジオルネの2重協奏曲(オ

ーケストラ版)を日本初演するなど、各地吹奏楽団等とコンチェルトを共演している。

打楽器アンサンブル、吹奏楽、マーチング、弦楽合奏など多数の作曲作品が発表されている。

主な出版作品に「花回廊/風龍」「彩吹」などがある。

日本のみならず世界的にも作品が支持され、特に台湾では2017年に嘉義市で行われたマスタークラス・演奏会はテレビ放映されるような熱狂的な人気がある。

打楽器集団「男群」を主宰し、全国各地で多くの公演を重ねる。

打楽器集団「男群」として、第5回・第6回大阪国際室内楽コンクール&フェスタにおいてファイナリスト賞を受賞。

第8回では世界第3位に該当する銅賞を受賞し日本人団体初の入賞となった。

第1回ネオ・クラシック国際コンクール最優秀賞。

リズムへの的確なアプローチと深い音楽表現から近年指揮者としても活躍し、北総シンフォニックウインド芸術監督・指揮を務めるほか弦楽合奏、オーケストラなど、様々な団体に客演指揮を務める。

ライフワークとする吹奏楽指導も積極的に行い、盛岡吹奏楽団専属コーチなどを務める。

日本最大のマリンバメーカー「(株)こおろぎ社 neoria」契約アーティスト。